

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線42354  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

### リコール届出一覧表

リコール届出日：平成29年3月21日

リコール届出番号	4009	リコール開始日	平成29年3月22日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 柳 弘之 <div style="float: right; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">           問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター            0120-090-819         </div>		
不具合の部位（部品名）	かじ取り装置（下側ハンドルホルダー）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	かじ取装置の下側ハンドルホルダーにおいて、スタッドボルトの緩み防止剤の塗布量が不足しているものがある。また、当該ホルダー座面の塗装指示が不適切なため、高速で段差を乗り越える等して繰り返し大きな力が加わると、座面の塗装が剥がれることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、スタッドボルトの軸力が低下し、スタッドボルトが抜けてハンドル操作ができなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、下側ハンドルホルダーを対策品と交換する。		
不具合件数	なし	事故の有無	なし
発見の動機	海外市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメールで通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 4009のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	EBL-RN34J	「MT-09」	RN34J-000366～RN34J-007908 平成26年3月3日～平成28年9月12日	2,651台	
		「MT-09A」	RN34J-000016～RN34J-007953 平成26年2月10日～平成28年10月24日	5,208台	
	EBL-RN36J	「MT-09TRA」	RN36J-000012～RN36J-003725 平成27年1月7日～平成28年10月31日	3,653台	
	EBL-RN46J	「XSR900」	RN46J-000010～RN46J-002476 平成28年3月2日～平成28年12月20日	2,440台	
	(計3型式)	(計4車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成26年2月10日～平成28年12月20日	(計13,952台)	

#### 【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。